iBSolution

インターネット接続制御

ソフトウェア

－ ブロックネット －

BlockNET

取扱説明書

Rev 1.1.00

目次

はじめに....3

本書の見かた....4
内容物に関して....4
ソフトウェア使用権許諾契約書....4
著作権について....7

ご利用の前に....8

本書の構成....9
BlockNET の特長....10
パソコンの環境について....11
対応するネットワーク機器....11
システム構成について....12
環境条件....13
BlockNET のご利用手順....14

準備....15

インターネットに接続する....16
BlockNET インストール....16
BlockNET アンインストール....20
BlockNET を起動する....20
ライセンスキーを登録する....21
試用版で利用する....22
各部の名称と機能....23
全体構成....23
メニュー構成....23
設定状況....24
全体状況....24
詳細状況....25

設定....27

ユーザー認証....28
制御設定を行う....29
制御機器との通信を確認する....30
対象 PC 設定を行う....32
配置場所を設定する....34
システム設定を行う....36
アップデートを実行する....37
管理者情報を設定する....37

操作....38

すべてを一斉に切断する....39
すべてを一斉に接続する....39
個別に切断する....40
個別に接続する....40
一覧表示で制御する....41
簡易表示で制御する....41
制御グループを切り替える....42
最新情報に更新する....43
BlockNET を終了する....43

その他....44

ハードウェア IP フィルター確認....45
ハードウェアパケットフィルター確認....46
エントリ数算出方法....47
エラーメッセージ....49
困ったときは....51

はじめに

本書の見かた. 4
内容物に関して. 4
ソフトウェア使用権許諾契約書. 4
著作権について. 7

本書の見かた

本説明書ではご注意いいただきたい内容や参照ページを次のように記載しています。

メモ	知っておくと便利なことや、関連知識などを記載しています。
ご注意	操作上お守りいただきたい事項や、ご注意いただきたい事項を記載しています。
▸P. 00	参照するページを記載しています。

内容物に関して

ご使用の前に、次のものがそろっているかご確認ください。万一、不足しているものがあった場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●CD-ROM（1 枚）
本製品のセットアップソフトウェアと取扱説明書が収録されています。

●ライセンス証書
本製品のライセンスキーを記載しています。

ソフトウェア使用権許諾契約書

アイビーソリューション株式会社（以下「弊社」といいます）とお客様は、本契約書とともに提供されるソフトウェア製品に関して以下のとおり合意します。

- お客様がこの使用権許諾契約書に同意される場合は「同意する」ボタンを押してください。本プログラムをご使用のコンピューターにインストールすることをもって、お客様が下記の条件に同意し、お客様と弊社との間でこの契約が結ばれたものとみなしますので、あらかじめ以下の内容をよくお読みください。
- 契約書に同意できない場合には、「同意しない」ボタンをクリックし、ご購入の日から３０日以内に、本プログラムの返品につき、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、未インストールの本プログラムとともに領収書、納品書などご購入の証明となる書類などのご提出・ご返却が必要となります。また、ご購入経路により、返品を一切お受けできない場合があります。

1. **定義**

本ソフトウェアとは、以下の２つを言います。

- 本プログラム
- 本印刷物

本プログラムとは、以下の２つを言います。

- このパッケージに含まれるコンピュータ・プログラム
- このパッケージに含まれるコンピュータ・プログラムの修正モジュール本印刷物とは、以下の２つを言います。
- このパッケージに含まれる全ての印刷及び電子化された資料
- 今後本プログラム使用のために提供される印刷及び電子化された資料

2. **使用権**

弊社は、本契約記載の条件に従い、お客様に対して日本国内における非独占的かつ譲渡不可能な以下の権利を許諾します。

- パッケージに記載の動作環境またはこれと同等の動作環境に適したコンピューター・システムへ本プログラムを１台のコンピューターにインストールして使用する権利。
- 本契約のもとで許諾された本プログラムの使用を目的として本印刷物を使用する権利
- バックアップの目的のために、1コピーに限り本プログラムを複製する権利。ただし、本プログラムの複製物にはオリジナルの本プログラムと同一の著作権表示を行うものとします。

3. **禁止事項**

- お客様は、前条に明記される場合を除き、本ソフトウェア又はその一部をいかなる目的のためにも複製することはできません。
- お客様は、本ソフトウェア又はその一部につきリバース・エンジニアリング、逆アセンブル又は逆コンパイルすることはできません。

また、お客様は、本ソフトウェア又はその一部につき改変または改作を行うことはできません。

- お客様は、本ソフトウェアに関して記載される著作権、特許、商標等の知的財産権の表示を削除又は改変することはできません。
- お客様は、本契約において許諾される権利を第三者へ譲渡又は再許諾することはできず、かつ、本ソフトウェアを第三者へ販売、貸与もしくは譲渡することはできません。

4. **保証**

- 弊社は、本ソフトウェアの供給メディアおよび本印刷物に物理的欠陥がある場合に限り、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになって90日以内であれば無償で当該欠陥のあるメディア又は本印刷物を交換いたします。
- 本ソフトウェアは現状有姿の状態で提供されるものであり、弊社は本契約において明記される場合を除き、本ソフトウェアに関して機能、品質、及び、欠陥もしくは第三者の権利侵害の不存在等を含むいっさいの保証を行いません。

5. **責任の制限**

本ソフトウェアに起因してお客様もしくは第三者に生じる間接的又は付随的な損害もしくは逸失利益等について弊社は一切の責任を負いません。ここでいう損害は、事業利益の損失、業務の中断、情報の損失、金銭的な損失、あるいは第三者から請求を受けた損害などを含みますが、これらに限定されません。本ソフトウェアに起因して弊社がお客様もしくは第三者に対して負担する責任の総額は、いかなる場合においても本ソフトウェアの使用許諾の対価としてお客様が実際に支払われた金額を超えることはありません。

6. **権利の帰属**

本ソフトウェアに関する著作権、特許、商標、ノウハウ及びその他のすべての知的財産権は弊社に帰属します。本契約のもとで明示的にお客様へ許諾される権利を除き、本ソフトウェアに関するすべての権利は弊社に留保されます。

7. **終了**

- お客様は、本ソフトウェア及びそのすべての複製物を廃棄することにより、いつでも本契約を終了させることができます。
- お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は事前の通知なくただちに本契約を解除し、お客様へ許諾された本ソフトウェアの使用権を終了させることができます。この場合、お客様は、本ソフトウェア及びそのすべての複製物をただちに廃棄するものとします。
- 本契約が終了した場合においても、理由の如何を問わず、お客様が本ソフトウェアに関して支払われた代金が返却されることはありません。
- 本契約の第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条及び第9条の 規定は、本契約の終了後又は解除後においても効力を維持するものとします。

8. **一般条項**

本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となった場合には、かかる部分は本契約から削除されるものとします。

9. **その他**

この契約書は、お客様が適法に、本プログラムを使用する権利の許諾を受けたことの証明となりますので、大切に保管してください。

アイビーソリューション株式会社

著作権について

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複写すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されています。

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、アイビーソリューション株式会社は一切その責任を追いかねます。このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますが、ご了承ください。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Intel および Pentium は米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

ご利用の前に

本書の構成. 9
BlockNET の特長. 10
パソコンの環境について. 11
対応するネットワーク機器. 11
システム構成について. 12
環境条件. 13
BlockNET のご利用手順. 14

本書の構成

本書の構成は次の通りです。

■ご利用の前に

BlockNET の特長や動作環境など、あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明します。

■準備

インストール方法やライセンスキーの登録など、BlockNET 起動前の準備内容を説明します。

■設定

制御設定や対象 PC 設定など、各種設定について説明します。

■操作

インターネット接続を一斉に切断したり接続したりする操作方法について説明します。

■その他

エラーメッセージの見かたやシステム異常時の対処方法について説明します。

BlockNET の特長

本製品は以下の特長があります。

●インターネット接続制御をボタンクリックで瞬時に切り替えます。

ボタンクリックでインターネットへの接続を一斉に切り替えることができます。また、個別に特定の PC の切り替えも行えます。

●特定 PC とネットワーク範囲で指定します。

制御対象は、特定 PC とネットワーク範囲で指定します。一斉に制御する際、特定 PC は最大 120 台、ネットワーク範囲指定の場合はそのネットワーク範囲に所属する PC を制御することができます。

●最大 1200 件まで登録できます。

制御対象は、最大 1200 件まで登録することができます。登録を行う際に CSV ファイルを利用した一括登録も可能です。

●多彩な表示を行います。

画面上に表示する制御対象の配置場所を環境に応じて設定できます。また、全体の一覧表示や簡易表示を行えます。

●プロキシ環境に依存しません。

インターネットに接続する環境において、プロキシサーバを利用する場合と利用しない場合に対応しています。プロキシサーバを利用する場合には、制御対象からプロキシサーバへのアクセスを制御し、プロキシサーバを利用しない場合はアクセス許可ネットワークで指定した範囲以外を制御します。

●制御対象 PC へのインストールは不要です。

インターネットへの接続制御対象 PC へのアプリケーションのインストールは必要としません。

パソコンの環境について

本製品を使うには、以下のハードウェアが必要です。パソコンの取扱説明書をお読みのうえ、パソコン環境を確認してください。

パソコン	- CPU：Pentium Ⅲ 500 MHz 以上または相当する CPU （Pentium 4 1.70GHz 以上を推奨） - メモリ：128MB 以上 - 10MB 以上の空き容量 （アプリケーションのインストールに必要）
OS	Microsoft® Windows® XP Microsoft® Windows® Vista Microsoft® Windows® 7
ディスプレイ	1024×768 以上
その他	必須コンポーネント：.NET Framework 2.0 以上 インターネットへの接続環境

●Pentium は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

●Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

対応するネットワーク機器

本製品に対応するネットワーク機器は次の通りです。

※2009 年 09 月 現在

製造元	機種名
アライドテレシス	CentreCOM 8748SL、CentreCOM 8724SL、CentreCOM 8424XL、CentreCOM 8424TX、CentreCOM 8324XL、CentreCOM 8316XL、AT-x900-24XT、AT-x900-24XS、AT-x900-12XT/S、AT-x600-48Ts、AT-x600-24Ts、AT-x600-24Ts/XP

●CentreCOM はアライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

[メモ]

本製品は上記ネットワーク機器の各種類別に利用する機能を使い分けています。

CentreCOM 系機種においては、ハードウェア IP フィルター機能を利用し、AT-x900/x600 系機種においては、ハードウェアパケットフィルター機能を利用します。

ご利用される前にネットワーク機器の設定内容をご確認ください。

※【ハードウェア IP フィルター確認】参照（▸P.45）

※【ハードウェアパケットフィルター確認】参照（▸P.46）

また、最新の対応するネットワーク機器の情報は、ホームページをご確認下さい。

[⚠ご注意]

ネットワーク機器のハードウェア IP フィルター及びハードウェアパケットフィルターには設定数の上限があります。設定数の上限を超える制御は行えません。本製品では、設定数の上限を超えないために設定制限を行っています。

※【エントリ数算出方法】参照（▸P. 47）

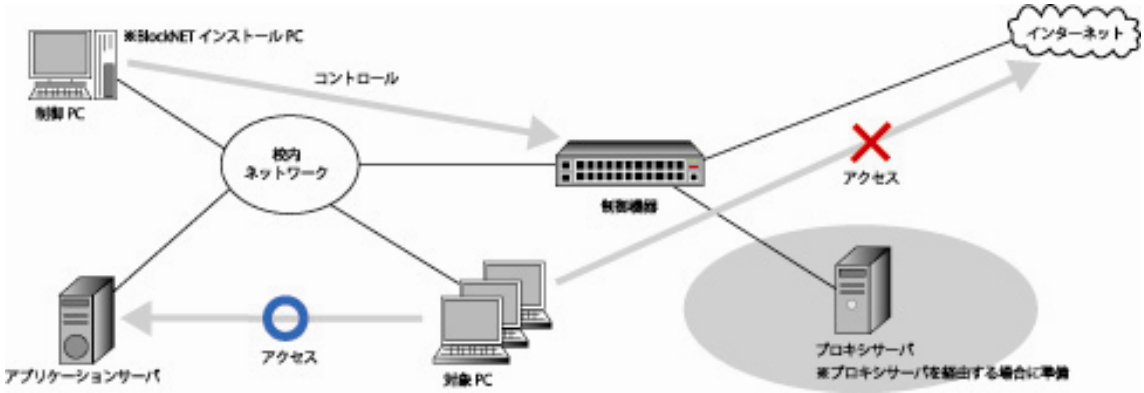
詳細は、ネットワーク機器付属の取扱説明書を参照ください。

システム構成について

本製品を利用する際に次のようなシステム構成となります。

校内ネットワークに本製品をインストールした[制御 PC]および制御[対象 PC]を配置させ、校内ネットワークとインターネットの間に[制御機器]を配置させます。[制御 PC]から[制御機器]への通信が可能であることを確認してください。

必要に応じて、プロキシサーバを配置します。



環境条件

本製品を導入する際の環境条件は次の通りです。

- 制御対象 PC の IP アドレスは、固定 IP アドレスとすること。
  （※DHCP 環境は推奨しません）
- 制御対象 PC の設定において、プロキシサーバ利用有無を統一すること。
  - プロキシサーバを利用する環境の場合、インターネットへの接続に対してプロキシサーバを利用する設定が必要です。
    IE の場合：メニュー[ツール]-[インターネットオプション][接続タブ]-[LAN の設定]
  - プロキシサーバを利用しない環境の場合、インターネットへの接続に対してプロキシサーバを利用しない設定が必要です。設定されている際には利用しない設定にしてください。
- 導入 PC から制御機器への通信が可能であること。
- インターネット接続が可能であること。（オンラインアクティベーションのため）
- 導入 PC でのアカウントは、管理者権限を有していること。
  （※標準アカウントでの利用はできません）

BlockNET のご利用手順

BlockNET の利用手順は次の通りです。

STEP1	**システム環境を整える** ➢ 対応するネットワーク機器を設置します。(▸P.11) ➢ 必要に応じてプロキシサーバを設置します。 ➢ 対象 PC を準備します。

STEP2	**インターネットに接続する** 本製品をインストールする PC でインターネットに接続します。

STEP3	**インストールする** 本製品をインストールします。

STEP4	**ライセンスキーを登録する** ライセンスキーを登録します。 ライセンス認証はオンラインアクティベーションにて行います。

STEP5	**各種設定を行う** ➢ 制御設定を行います。(▸P. 29) ➢ 対象 PC 設定を行います。(▸P. 32)

STEP6	**インターネットへの接続制御を行う** インターネットへの接続制御を行います。

準備

インターネットに接続する. 16
BlockNET インストール. 16
BlockNET アンインストール. 20
BlockNET を起動する. 20
ライセンスキーを登録する. 21
試用版で利用する. 22
各部の名称と機能. 23
全体構成. 23
メニュー構成. 23
設定状況. 24
全体状況. 24
詳細状況. 25

インターネットに接続する

本製品をインストールする前にインターネットに接続してください。

[メモ]

インストール後、ライセンスキーを登録する際にインターネットに接続されている必要があります。

BlockNET インストール

本製品を PC にインストールする手順を以下に示します。

[ご注意]

管理者権限ユーザーでインストールしてください。

① **CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れる**

② **[BlockNET_Setup.msi] をダブルクリックする**

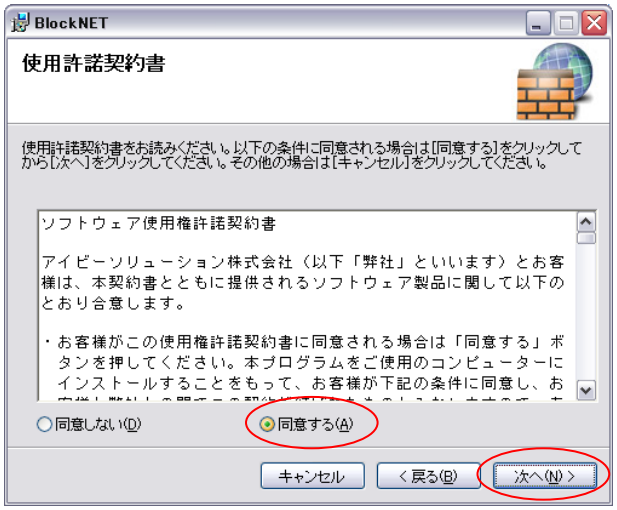
[メモ]

「.NET Framework 2.0」が必要です。

③ **[次へ]をクリックする**

次の画面に遷移します。

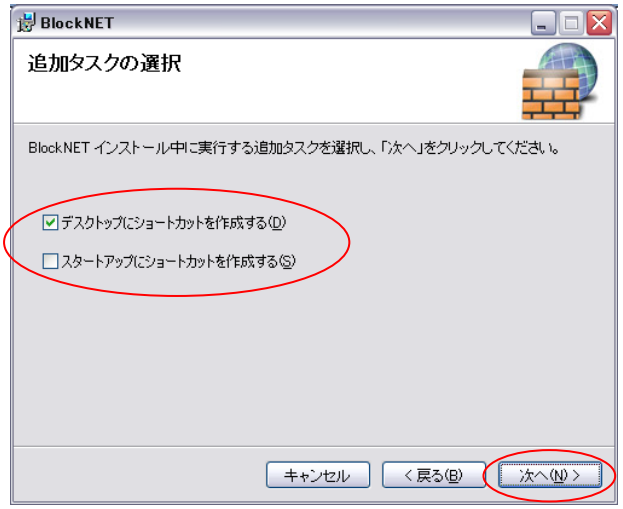
④ **使用許諾契約書を確認後、[同意する]を選択し、[次へ]をクリックする**



[ご注意]

「同意しない」を選択した場合はインストールを終了し、本製品のインストールを中止します。

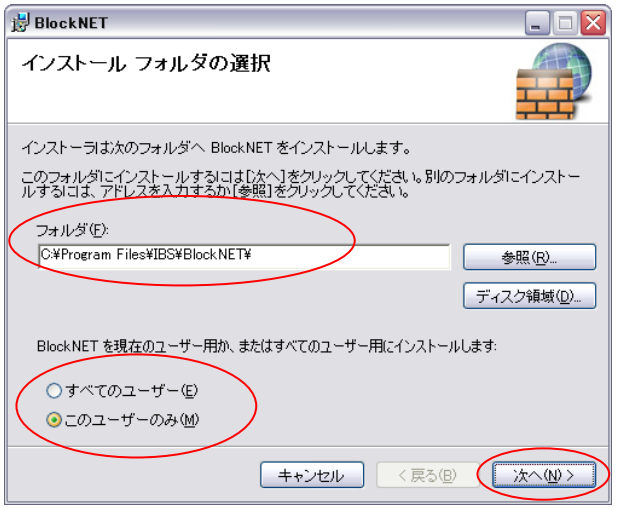
⑤ **ショートカットの作成を選択し、[次へ]をクリックする**



[メモ]

「スタートメニュー」-「プログラム」内には必ず作成されます。

⑥ **インストールするフォルダおよびインストールユーザーを確認し、[次へ]をクリックする**



[ご注意]

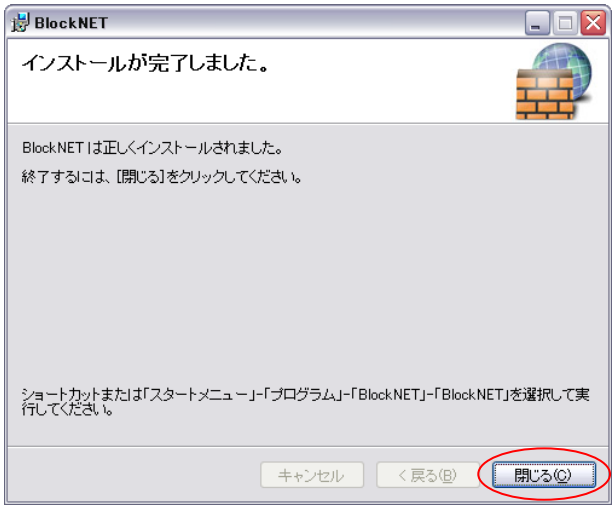
Windows Vista にて、「すべてのユーザー」を選択した場合、デスクトップにショートカットが作成されません。

インストール説明終了後の「ご注意」を参照ください。

⑦ **[次へ]をクリックする**

⑧ **インストールが完了するまで待機する**

⑨ **[閉じる]をクリックする**



以上で BlockNET のインストールは終了です。

⚠ご注意

Windows Vista のユーザーアカウント制御（UAC）機能により、インストーラの一部の動作が正しく動作しない場合があります。

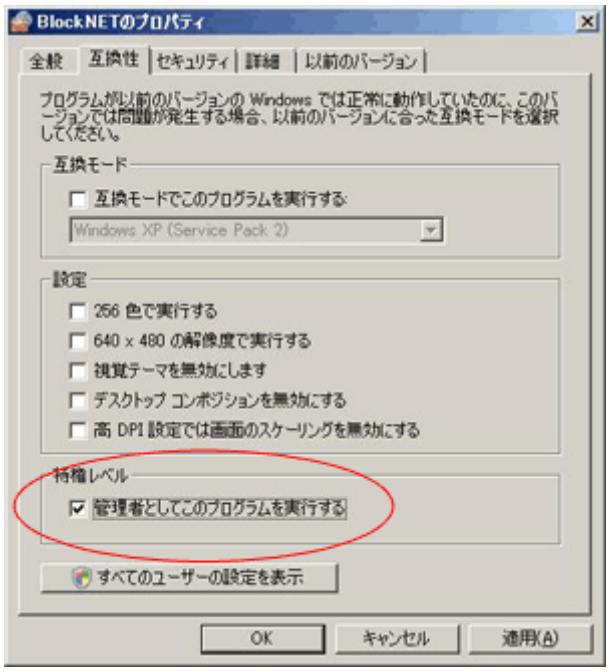
インストーラにて、「すべてのユーザー」に「デスクトップにショートカットを作成する」を選択した場合、ショートカットが作成されません。これは、UAC 機能により制限されているためです。デスクトップにショートカットを作成するためには、直接インストールしたフォルダ内の「BlockNET.exe」からショートカットを作成してください。

また、本製品は管理者権限での実行を必要とします。標準アカウントで実行した場合、一部の機能が正常に動作しません。

常に管理者として実行する際には、インストールしたフォルダ内の「BlockNET.exe」の[プロパティ]-[互換性]タブ-[特権レベル]-[管理者としてこのプログラムを実行する]をチェックしてください。

Ex)C:¥Program Files¥IBS¥BlockNET¥BlockNET.exe

「BlockNET.exe」を右クリックしてコンテキストメニュー「管理者として実行」でも実行可能です。



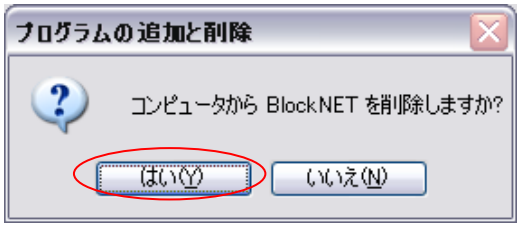
BlockNET アンインストール

本製品が不要になった場合は以下の手順で削除してください。

① **コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を開く**

② **「BlockNET」を選択し、「削除」をクリックする**

③ **[はい]をクリックする**



以上で BlockNET のアンインストールは終了です。

BlockNET を起動する

本製品を起動するための手順は次の通りです。

① **[スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[BlockNET]→[BlockNET]の順にクリックする**

ライセンス登録画面が表示されます。

[メモ]

デスクトップに アイコンがある時は、アイコンをダブルクリックして起動することもできます。

ライセンスキーを登録する

本製品を利用するためにライセンスキーの登録が必要です。ライセンスキーの登録の際にはライセンス証書をお手元に準備してください。

① **インターネットへの接続環境を選択し、「次へ」をクリックする**

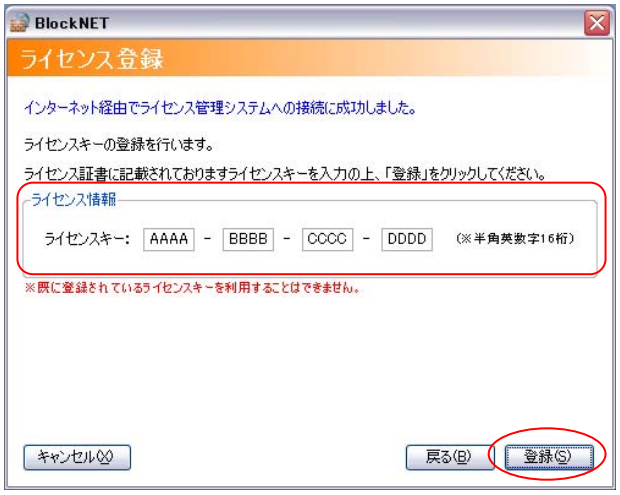
［メモ］

プロキシサーバのご利用有無を確認してください。

［ご注意］

インターネットに接続できない場合は、登録できません。

② **ライセンスキーを入力し、「登録」をクリックする**



ライセンスキー	ライセンス証書に記載されたライセンスキー。 半角英数字 16 桁。

以上でライセンスキーの登録は完了です。

試用版で利用する

本製品の試用版を利用するための手順は次の通りです。

① **BlockNET を起動する**

② **「試用版」をクリックする**

以上で本製品の試用版が起動します。

■制限事項

試用版でのご利用は、以下の機能に関して利用制限を設けています。

- 画面上に「試用版」文言が表示されます。
- 対象 PC の登録は 1 グループに 5 個までとします。

[メモ]

→試用版でのご利用期間制限はありません。

→試用版で利用される場合、起動時には毎回「ライセンス登録」画面が表示されます。

→ライセンス登録を行うことにより、正規版として認識されます。

各部の名称と機能

ここでは本製品の各部の名称と機能を説明します。

全体構成

全体構成は次の通りです。

画面は 4 つの部分となる①メニュー部、②設定状況、③全体状況、④詳細状況から成り立っています。

メニュー構成

①メニュー部のメニュー構成は次の通りです。

メニュー		説明
メイン	サブ	
設定	制御設定	制御方法／制御機器の設定を行います。
	対象 PC 設定	対象 PC の設定を行います。
	システム設定	システムに関連する設定を行います。
表示	簡易表示	簡易表示切り替えを行います。 ※□クリックも同機能です。
	最新の情報に更新	最新情報に更新します。 ※キーボード「U」キー押下も同機能です。
終了	-	BlockNET を終了します。

設定状況

②設定状況では、各種設定状況結果を表示します。

正常時	異常時

設定が正しく行われている場合には「OK」と表示し、設定が誤っている場合には「NG」と表示します。

[メモ]

「NG」の場合には、エラーメッセージを表示し、画面上のボタン操作は無効となります。「OK」の際にボタン操作が可能となります。「NG」が表示された場合には、エラーメッセージに従ってください。

全体状況

③全体状況では、対象 PC 全体の接続状況を表示します。

Ⅰ. 全ての対象 PC が接続中の場合

Ⅰ. 全ての対象 PC が接続中の場合、全体制御ボタン（[切断]）を押下することにより対象 PC を一斉に切断することができます。

Ⅱ. 一部の対象 PC が接続中の場合

Ⅱ. 一部の対象 PC が接続中の場合、全体制御ボタン（[接続]）を押下することにより切断中の対象 PC を全て接続することができます。

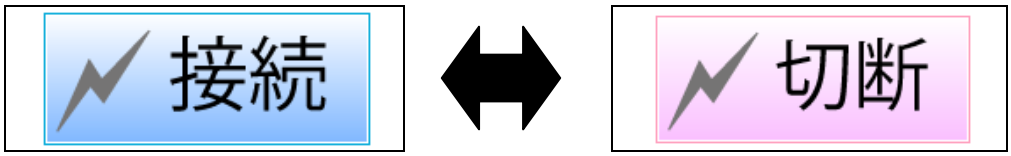
Ⅲ. 全ての対象 PC が切断中の場合

III. 全ての対象 PC が切断中の場合、全体制御ボタン（[接続]）を押下することにより切断中の対象 PC を全て接続することができます。

Ⅳ. 制御不可の場合

IV. 設定状況が「NG」の場合、全体制御ボタン（[無効]）がクリックできなくなります。

全体制御ボタンをクリックすることで､全ての対象 PC を一斉に切り替えることができます。

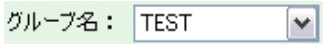


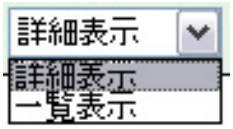
[メモ]

キーボード「Enter」キーのクリックでも全体制御ボタンをクリックした場合と同様の機能を行うことができます。

詳細状況

④詳細状況では、対象 PC の接続状況を表示します。

部品	説明
グループ名：TEST	対象 PC のグループ名を示します。
	メニュー[設定]-[対象 PC 設定]にて、以下の設定を行うことで､メイン画面での制御グループの変更が行えます。 制御グループの切り替え：メイン画面可能 [メモ] 制御グループ切り替えの際、切断中の PC が存在する場合には確認画面にて切断解除の確認を行います。

接続 PC 数：2	インターネット接続 PC 数を示します。
切断 PC 数：2	インターネット切断 PC 数を示します。
	対象 PC を全て選択状態にします。 [メモ] キーボード「Ctrl」+「A」キー押下でも同機能です。
	対象 PC を全て非選択状態にします。 [メモ] キーボード「Ctrl」+「D」キー押下でも同機能です。
	選択されている対象 PC の接続状況を切り替えます。 接続中の対象 PC は切断し、切断中の対象 PC は接続します。
	詳細表示と一覧表示の切り替えを行います。
	対象 PC を示します。 表示名：TEST001 対象 PC 分類：特定 PC 指定 接続状況：接続中
	対象 PC を示します。 表示名：TEST002 対象 PC 分類：特定 PC 指定 接続状況：切断中
	対象 PC を示します。 表示名：TEST003 対象 PC 分類：ネットワーク指定 接続状況：接続中
	対象 PC を示します。 表示名：TEST004 対象 PC 分類：ネットワーク指定 接続状況：切断中

[メモ]

対象 PC をクリックすることで、選択状態を切り替えます。黄色枠が対象 PC に表示された状態が選択状態となります。

設定

ユーザー認証. 28
制御設定を行う. 29
　制御機器との通信を確認する. 30
対象 PC 設定を行う. 32
　配置場所を設定する. 34
システム設定を行う. 36
　アップデートを実行する. 37
　管理者情報を設定する. 37

ユーザー認証

メニュー[設定]-[制御設定]／[対象 PC 設定]／[システム設定]をクリックした場合に、管理者のユーザー認証が必要です。

ユーザー認証には、ユーザーID とパスワードを入力します。このユーザーID とパスワードの設定は、メニュー[設定]-[システム設定]-[管理者タブ]にて設定変更を行うことができます。

初期設定値は次の通りです。

項目名	値	説明
ユーザーID	admin	工場出荷時の値
パスワード	password	工場出荷時の値

項目名	値	説明
ユーザーID	半角英数字 5 桁以上	管理者のユーザーID
パスワード	半角英数字 5 桁以上	管理者のパスワード

[メモ]

ユーザー認証後、各設定画面に遷移します。

[ご注意]

ユーザーID、パスワードを忘れてしまった場合には、再インストールしてください。

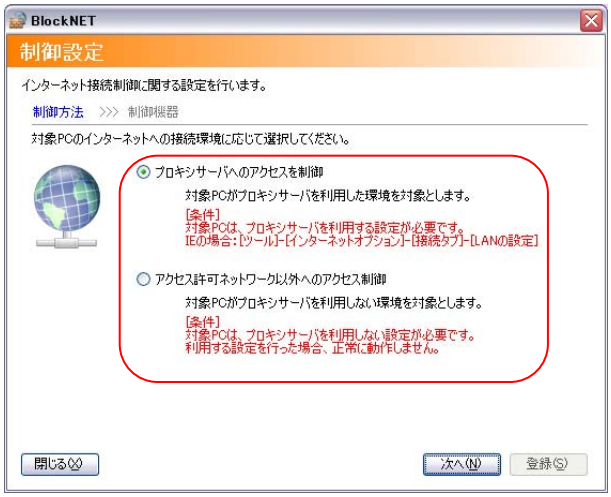
制御設定を行う

メニュー[設定]-[制御設定]内容は次の通りです。

ここでは、対象 PC のインターネット接続環境に応じた設定を行います。

対象 PC がプロキシサーバ使用環境の場合、「プロキシサーバへのアクセス制御」を選択し、プロキシサーバ未使用環境の場合、「アクセス許可ネットワーク以外へのアクセス制御」を選択します。

① **制御方法を選択し、「次へ」をクリックする**



制御方法	・プロキシサーバへのアクセス制御 ・アクセス許可ネットワーク以外へのアクセス制御

[⚠ご注意]

「プロキシサーバへのアクセスを制御」を選択している場合、対象 PC はプロキシサーバを利用する設定を行う必要があります。行っていない場合、正しく動作しません。

例）IE の場合、[ツール]-[インターネットオプション]-[接続タブ]-[LAN の設定]

アクセス許可ネットワーク以外へのアクセス制御」を選択している場合、対象 PC はプロキシサーバを利用しない設定を行う必要があります。行っていない場合、正しく動作しません。

② **制御機器情報を入力し、「確認」をクリックして通信確認を行う その後、「次へ」をクリックする**

機器種別	機器種別を選択します。 ※【対応するネットワーク機器】参照（▸P. 11）
機器 IP アドレス	機器 IP アドレスを入力します。
ログイン ID	機器の Telnet ログイン ID を入力します。
パスワード	機器の Telnet パスワードを入力します。
確認ボタン	機器との通信確認を行います。

制御機器との通信確認

制御機器との通信確認を行う際には、メニュー[設定]-[制御設定]-[制御機器]タブの「確認」をクリックします。

[メモ]

次の確認を行います。

✧　ネットワーク通信確認（Ping 確認）

✧　ログイン確認

✧　機器種別確認

③ **制御方法で「プロキシサーバへのアクセス制御」を選択した場合、プロキシサーバ IP アドレスを入力し「確認」をクリックして通信確認を行う**
その後、「登録」をクリックする

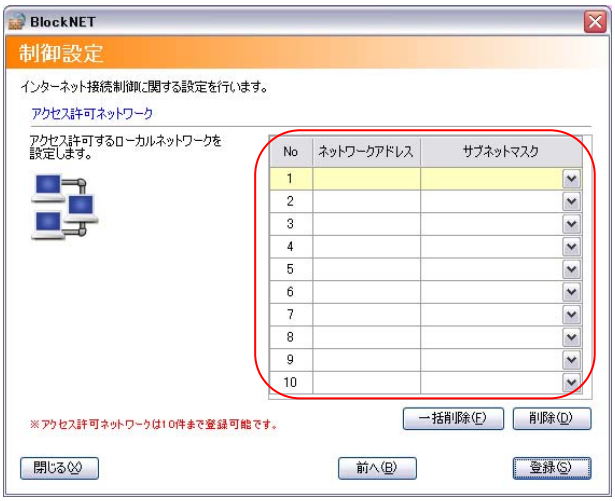
プロキシサーバ IP アドレス	プロキシサーバ IP アドレスを入力します。
確認ボタン	プロキシサーバとの通信確認を行います。

[メモ]

プロキシサーバとの通信確認では、次の確認を行います。

✧　ネットワーク通信確認（Ping 確認）

④ **制御方法で「アクセス許可ネットワーク以外へのアクセス制御」を選択した場合、アクセス許可ネットワークを入力し、「登録」をクリックする**



[メモ]
アクセス許可ネットワークは最大 10 個です。

ネットワークアドレス	ネットワークアドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを選択します。
一括削除ボタン	アクセス許可ネットワーク入力内容を全て削除します。
削除ボタン	選択したアクセス許可ネットワーク内容を削除します。

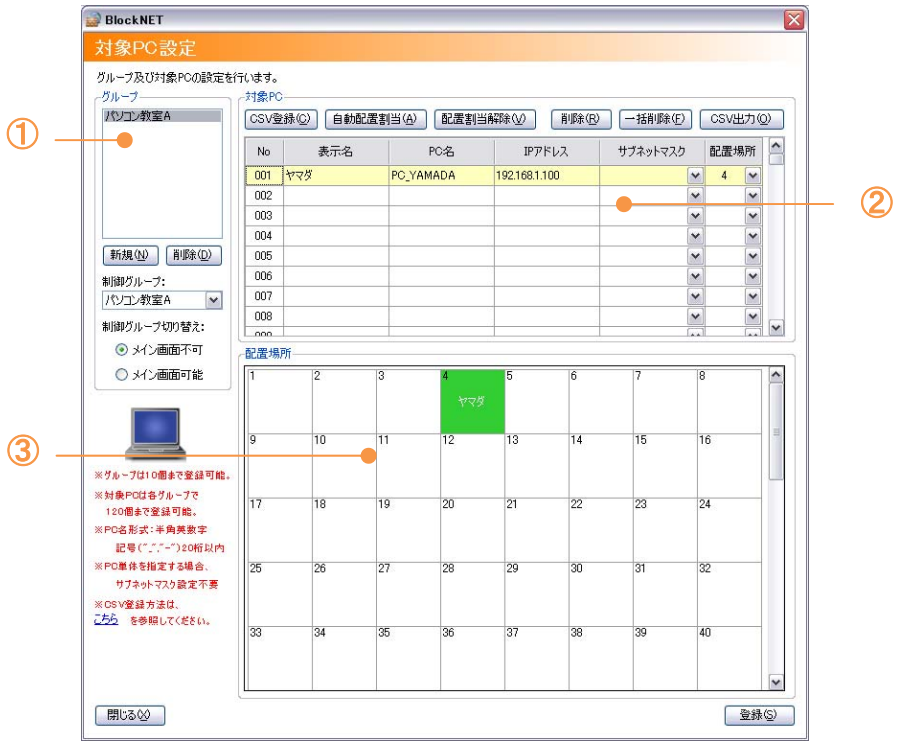
以上で制御設定は完了です。

[メモ]
切断中の対象 PC が存在する場合、確認画面を表示して切断中の対象 PC を接続させるかどうかの確認を行います。「はい」を選択した場合、切断中の対象 PC をすべて接続します。「いいえ」を選択した場合は、切断中の状態のままです。

対象 PC 設定を行う

メニュー[設定]-[対象 PC 設定]内容は次の通りです。

ここでは、インターネット接続制御の対象 PC を設定します。



①グループ部の内容は次の通りです。

グループリスト	登録済みグループを表示します。 ※登録可能数：10 個
新規ボタン	新規グループを登録します。 ※グループ新規追加画面が表示されます。
削除ボタン(グループ)	選択したグループリストのグループを削除します。 ※選択グループの対象 PC の設定がある場合、確認画面を表示して対象 PC を含むグループを削除するかどうか確認します。
制御グループ	制御グループを選択します。 ※実際に制御を行うグループです。
制御グループ切り替え	メイン画面での制御グループ切り替え可能有無を選択します。 ※デフォルト：メイン画面不可

②対象 PC 入力部の内容は次の通りです。

表示名	対象 PC の表示名を入力します。(必須) ※メイン画面に表示する名称です。

PC 名	対象 PC の PC 名を入力します。(必須)
IP アドレス	対象 PC の IP アドレス、またはネットワーク範囲を指定する場合ネットワークアドレスを入力します。(必須) 例) 特定 PC の場合：192.168.1.100 ネットワーク範囲指定の場合：192.168.1.0
サブネットマスク	ネットワーク範囲を指定する場合サブネットマスクを選択します。(任意) ※特定 PC を指定する場合、選択しないでください。
配置場所	メイン画面の詳細状況にて、表示する配置場所を選択します。選択した場合、③配置場所表示部に表示されます。(必須)
CSV 登録ボタン	CSV ファイルから対象 PC の登録を行います。 [メモ] <<CSV ファイル形式>> 表示名,PC 名,IP アドレス,サブネットマスク ※CSV ファイルからの登録は、各グループ単位です。
自動配置割当ボタン	対象 PC の配置場所を小さな番号から自動で割り振ります。
配置割当解除ボタン	設定済みの配置場所番号を全て削除します。
削除ボタン(対象 PC)	選択した対象 PC を削除します。
一括削除ボタン	指定グループの入力済みの対象 PC を全て削除します。 ※対象 PC が存在する場合、確認画面を表示します。
CSV 出力ボタン	指定グループの対象 PC 情報を CSV ファイルに出力します。 [メモ] <<CSV ファイル形式>> 表示名,PC 名,IP アドレス,サブネットマスク

③配置場所表示部の内容は次の通りです。

表示配置場所	メイン画面の詳細状況にて表示する配置場所を表示します。 ※表示場所を変更したい場合、マウスのドラッグアンドドロップで変更することができます。

その他

CSV 登録方法例リンク	対象 PC の CSV ファイル登録方法例を表示します。

次の手順で設定してください。

① グループを登録する

まず、グループの登録を行います。グループが未登録の場合、対象 PC の入力ができません。グループは最大 10 個まで登録ができ、その中から制御グループを選択します。グループリストには登録済みグループを表示し、グループ毎に対象 PC の設定を行います。グループリストからグループを切り替えた際には、そのグループに応じた対象 PC の情報が表示されます。

② 対象 PC を登録する

対象 PC を登録します。表示名、PC 名、IP アドレス、（サブネットマスク）を入力し、配置場所を選択します。対象 PC は最大 120 個まで登録することができます。対象 PC の配置場所を選択した際、画面下の配置場所レイアウトに緑色で表示されます。

以上で対象 PC 設定は完了です。

配置場所を設定する

対象 PC の配置場所を設定した場合、次のように表示されます。

［配置設定方法］

配置させたい場所の番号をプルダウンメニューから選択します。

配置場所の入れ替えや新たな配置場所への変更を行う際、③配置場所表示部でマウスのドラッグアンドドロップで移動させることができます。

［⚠ご注意］

同一場所への配置はできません。

[⚠ご注意]

特定 PC を登録する際、誤ってサブネットマスクを設定した場合、正しく制御できませんのでご注意ください。設定例は次の通りです。

No	表示名	PC 名	IP アドレス	サブネットマスク	配置場所
001	Test001	Pc001	192.168.1.100	255.255.255.0	1
002	Test002	Pc002	192.168.1.101	255.255.255.0	2

このような設定で制御した場合、**192.168.1.0/255.255.255.0** に対する切断内容がネットワーク機器に設定されます。

特定 PC を登録する際には、サブネットマスクを選択しないでください。

また、ネットワーク範囲を指定する際に誤ったネットワークアドレスを設定した場合、上記と同様の事象が発生します。

設定内容を戻す際は、ネットワーク機器のフィルターエントリーを削除する必要があります。

詳細は、ネットワーク機器付属の取扱説明書を参照ください。

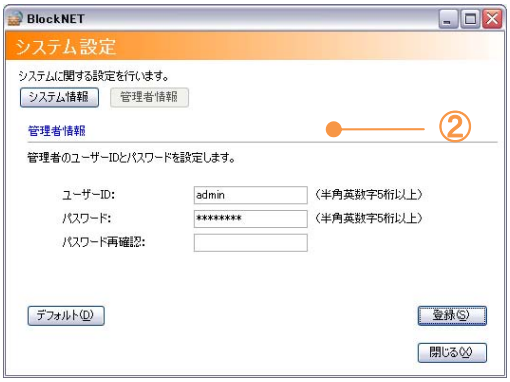
[メモ]

切断中の対象 PC が存在する場合、確認画面を表示して切断中の対象 PC を接続させるかどうかの確認を行います。「はい」を選択した場合、切断中の対象 PC をすべて接続します。「いいえ」を選択した場合は、切断中の状態のままです。

システム設定を行う

メニュー[設定]-[システム設定]内容は次の通りです。

システム設定では、本製品のバージョン表示、アップデート、管理者のユーザーID／パスワードの設定を行います。



①システム情報の内容は次の通りです。

バージョン	本製品のバージョンを表示します。
ライセンスキー	本製品のライセンスキーを表示します。
アップデートボタン	アップデートを実行します。
アップデート先 URL リンク	アップデート情報サイトを表示します。
サポート先 URL リンク	サポート情報サイトを表示します。
連絡先	連絡先を表示します。

②管理者の内容は次の通りです。

ユーザーID	管理者のユーザーID を入力します。
パスワード	管理者のパスワードを入力します。
パスワード再確認	パスワード再確認を入力します。
デフォルトボタン	ユーザーID、パスワードを初期設定値に戻します。

アップデートを実行する

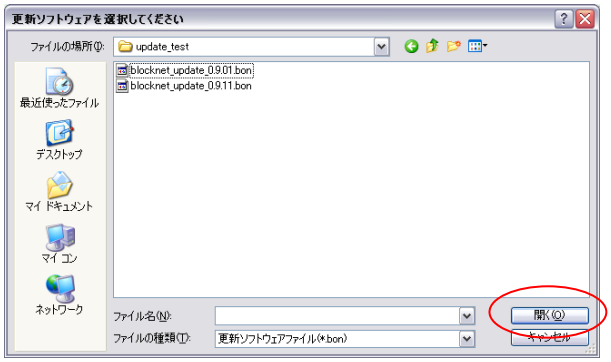
本製品で発生した不具合の修正や機能追加などの目的で、アップデートを行います。その場合は、以下の手順を参照しアップデートを実施してください。

① **アップデートファイルを入手する**

URL　http://blocknet.ib-sol.co.jp/update/

② **「アップデート」をクリックする**

③ **アップデートファイルを選択し「開く」をクリックする**



以上でアップデートは完了です。

[⚠ご注意]

本製品のアップデートファイルでない場合、アップデートは正しく実行されません。

管理者情報を設定する

ここでは、メニュー[設定]-[制御設定]／[対象 PC 設定]／[システム設定]にてユーザー認証を行うユーザーID とパスワードの設定変更を行います。

[メモ]

設定内容を忘れてしまった場合には、デフォルトボタンをクリックして、初期設定値に戻してください。

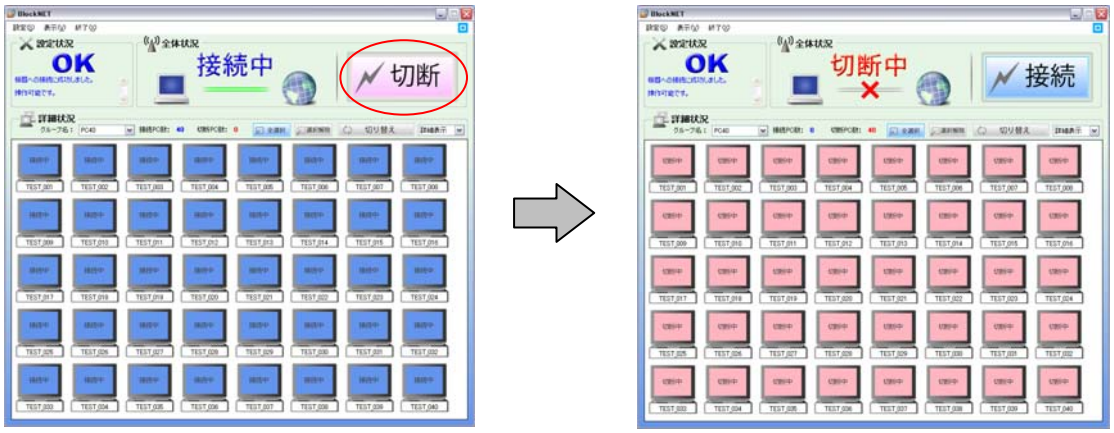
操作

すべてを一斉に切断する.....39
すべてを一斉に接続する.....39
個別に切断する.....40
個別に接続する.....40
一覧表示で制御する.....41
簡易表示で制御する.....41
制御グループを切り替える.....42
最新情報に更新する.....43
BlockNET を終了する.....43

すべてを一斉に切断する

対象 PC すべてを一斉に切断する方法は次の通りです。

「切断」をクリックする



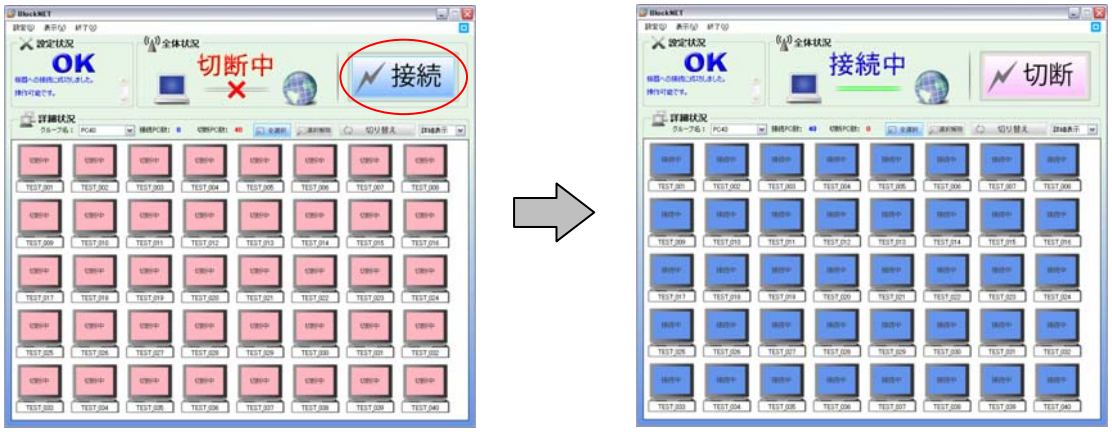
[メモ]

キーボード「Enter」キーのクリックでも全体制御ボタンをクリックした場合と同様の機能を行うことができます。

すべてを一斉に接続する

対象 PC すべてを一斉に接続する方法は次の通りです。

「接続」をクリックする



[メモ]

キーボード「Enter」キーのクリックでも全体制御ボタンをクリックした場合と同様の機能を行うことができます。

個別に切断する

特定の対象 PC を切断する方法は次の通りです。

対象 PC を選択して、「切り替え」をクリックする

[メモ]

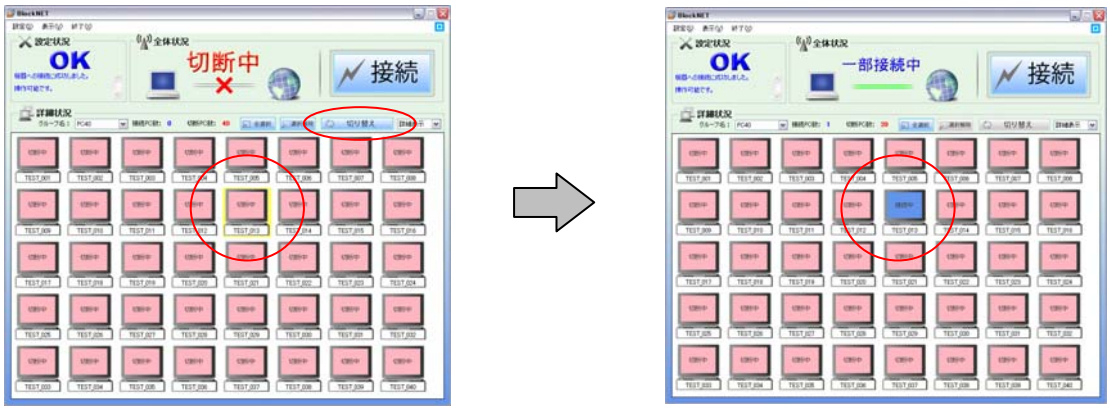
複数の対象 PC を選択して「切り替え」をクリックすることで複数の対象 PC を切断することができます。

対象 PC をダブルクリックでも切断することができます。

個別に接続する

特定の対象 PC を接続する方法は次の通りです。

対象 PC を選択して、「切り替え」をクリックする



[メモ]

複数の対象 PC を選択して「切り替え」をクリックすることで複数の対象 PC を接続することができます。

対象 PC をダブルクリックでも接続することができます。

一覧表示で制御する

詳細状況に表示する対象 PC を一覧表示させ、制御する方法は次の通りです。

プルダウンメニューから[一覧表示]を選択して制御する

[メモ]

制御方法は詳細表示の時と同様です。

詳細表示に戻す場合は、再度プルダウンメニューから[詳細表示]を選択してください。

簡易表示で制御する

簡易表示で制御する方法は次の通りです。

詳細な表示は省略し、全体の制御のみを実施したい場合に便利です。大きさはメインの約 16 分の 1 です。

簡易表示の表示場所は、ディスプレイの右上に表示します。

① **メニュー[表示]-[簡易表示]をクリックする**

[メモ]

クリックも同機能です。

② **「切断」をクリックする**

[メモ]

すべての対象 PC を切断します。

キーボード「Enter」キーのクリックでも全体制御ボタンをクリックした場合と同様の機能を行うことができます。

③ **「接続」をクリックする**

[メモ]

すべての対象 PC を接続します。

キーボード「Enter」キーのクリックでも全体制御ボタンをクリックした場合と同様の機能を行うことができます。

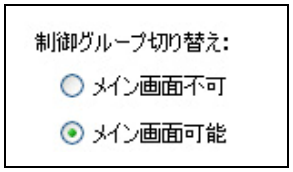
④ **□をクリックしてもとに戻す**

[メモ]

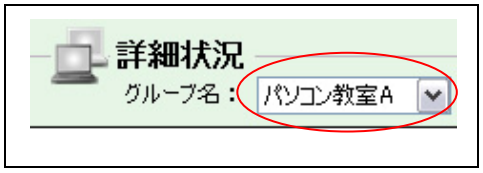
メイン表示に戻ります。

制御グループを切り替える

メイン画面で制御グループを切り替えるためには、メニュー[設定]-[対象 PC 設定]にてメイン画面で制御することができるようにする設定が必要です。



制御グループの切り替えは、詳細状況のグループ名のプルダウンメニューを選択します。



[メモ]

切断中の対象 PC が存在する場合、確認画面を表示して切断中の対象 PC を接続させるかどうかの確認を行います。「はい」を選択した場合、切断中の対象 PC をすべて接続します。「いいえ」を選択した場合は、切断中の状態のままです。

最新情報に更新する

メニュー[表示]-[最新情報に更新]をクリックします。

機能では、最新の制御機器の状態や対象 PC の接続状態を取得します。

対象 PC の接続状態は制御機器内に存在するため、本製品以外で制御機器の設定を変更した場合、画面上の表示状態と同期が取れなくなる可能性があります。その際に最新情報の更新を行ってください。

[メモ]

キーボード「U」キーのクリックでも同様の機能を行うことができます。

BlockNET を終了する

メニュー[終了]をクリックすることで本製品が終了します。

[メモ]

切断中の対象 PC が存在する場合、確認画面を表示して切断中の対象 PC を接続させるかどうかの確認を行います。「はい」を選択した場合、切断中の対象 PC をすべて接続します。「いいえ」を選択した場合は、切断中の状態のままです。

再起動する場合、終了時点の簡易表示／一覧表示の状態で起動します。

その他

ハードウェア IP フィルター確認.....45
ハードウェアパケットフィルター確認...46
エントリ数算出方法.....47
エラーメッセージ.....49
困ったときは.....51

ハードウェア IP フィルター確認

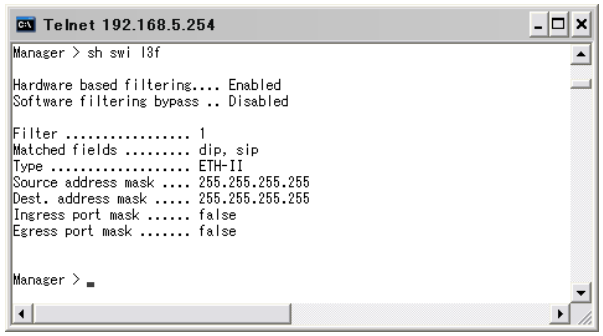
CentreCOM XXXX 系機器のハードウェア IP フィルターの確認方法は次の通りです。

① **制御機器に TELNET 接続する**

② **フィルターマッチ条件を確認するため、次のコマンドを発行する**
>sh swi l3f

[メモ]
右の結果は、フィルターマッチ条件がなく、フィルターエントリーが存在しない状態を表してます。

[メモ]
右の結果は、フィルターマッチ条件が存在する状態を表してます。

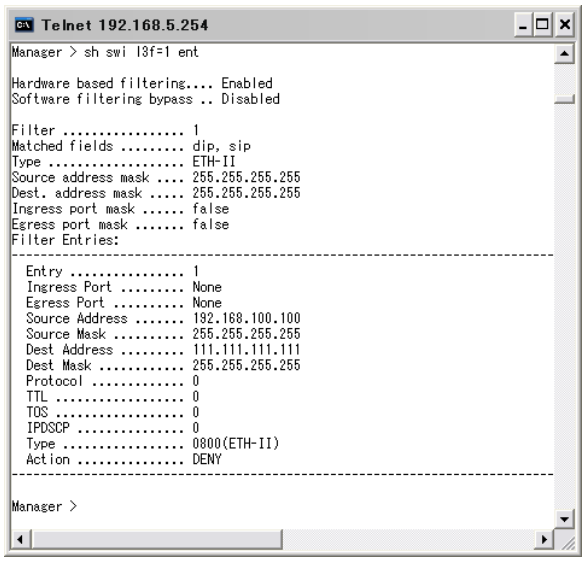


③ **フィルターエントリーを確認するため、次のコマンドを発行する**
>sh swi l3f=[フィルター番号] ent

[メモ]
フィルターマッチ条件が存在する場合のみ有効です。
上記②のフィルターマッチ条件が存在する場合には次のコマンドを発行します。
>sh swi l3f=1 ent

[メモ]
右の結果は、フィルターエントリーが存在する状態を表してます。
詳細については、ネットワーク機器付属の取扱説明書を参照ください。

[ご注意]
右の結果は、対応制御機器[CentreCOM 8724SL]を利用したものです。



ハードウェアパケットフィルター確認

x900/x600 系機器のハードウェアパケットフィルターの確認方法は次の通りです。

① **制御機器に TELNET 接続する**

② **ログインする**

③ **適用されているアクセスリストを表示する**

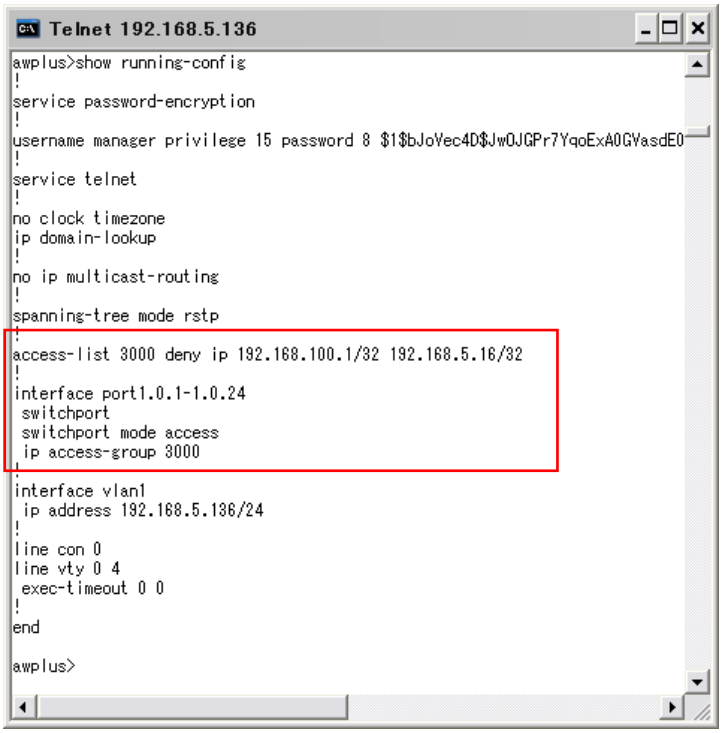
>show running-config

[メモ]

右の結果は、作成されているアクセスリストと、適用されているアクセスリストを表しています。

アクセスリストの内容は、192.168.100.1 から 192.168.5.16 へのパケットを破棄する内容となっています。

詳細については、ネットワーク機器のマニュアルを参照ください。



エントリ数算出方法

本製品は、CentreCOM 系機器のハードウェア IP フィルター機能または、x900/x600 系機器のハードウェアパケットフィルター機能を利用して制御を行っています。詳細については、制御機器の取扱説明書を参照ください。
本製品で制御可能な範囲は、対象となる制御機器のフィルターエントリー数またはアクセスリスト数が 120 までです。この数字を超える場合には制御することができません。
以下の条件を満たす場合、本製品で制御することができます。

CentreCOM 系機器

■プロキシサーバへのアクセス制御の場合

［既存エントリ数］※1　＋　［制御対象 PC 数］※2　＜＝　120

［メモ］

例えば、既に制御機器に 20 個のフィルターエントリーが設定されている場合、本製品から制御できる対象 PC 数は 100 個となる。

⇒20 + 100 = 120

■アクセス許可ネットワーク以外へのアクセス制御の場合

［既存エントリ数］※1　＋　（［制御対象 PC 数］※2　＋
［アクセス許可ネットワーク数］※3　×　［制御対象 PC 数］※2）　＜＝　120

［メモ］

例えば、既に制御機器に 20 個のフィルターエントリーが設定されており、アクセス許可ネットワークを 2 個設定した場合、本製品から制御できる対象 PC 数は 33 個となる。

⇒20 + (33 + 2×33) = 119

※1…既に制御機器に設定されているハードウェア IP フィルターエントリー数

※2…［対象 PC 設定］画面で設定した制御グループの対象 PC 数

※3…［制御設定］画面で設定したアクセス許可ネットワーク数

x900/x600 系機器

■プロキシサーバへのアクセス制御の場合

［既存アクセスリスト数］※1　＋　［制御対象 PC 数］※2　＜＝　120

［メモ］

例えば、既に制御機器に 20 個のアクセスリストが設定されている場合、本製品から制御できる対象 PC 数は 100 個となる。

⇒20 + 100 = 120

■アクセス許可ネットワーク以外へのアクセス制御の場合

［既存アクセスリスト数］※1　＋　（［制御対象 PC 数］※2　＋

［アクセス許可ネットワーク数］※3　×　［制御対象 PC 数］※2）　＜＝　120

［メモ］

例えば、既に制御機器に 20 個のアクセスリストが設定されており、アクセス許可ネットワークを 2 個設定した場合、本製品から制御できる対象 PC 数は 33 個となる。

⇒20 + (33 + 2×33) = 119

※1…既に制御機器に設定されているアクセスリスト数

※2…［対象 PC 設定］画面で設定した制御グループの対象 PC 数

※3…［制御設定］画面で設定したアクセス許可ネットワーク数

エラーメッセージ

エラーメッセージが出力された場合、以下の一覧表を参照し発生原因の把握と対策を行ってください。

	メッセージ	原因と対策
起動時	管理者権限で実行してください。 「右クリック」-「管理者として実行」	Windows Vista にて管理者権限で実行しなかった場合 →メッセージ通り対処してください。
	多重起動はできません。	多重起動した場合 →2 つ以上起動しないでください。
	[##]ファイルが見つかりません。 確認してください。	設定ファイル（[##]）が存在しなかった場合 →再インストールを行ってください。
	ライセンス情報が不正に変更された可能性があります。	設定ファイルを不正に変更された場合 →再インストールを行ってください。
	設定ファイルが不正に変更された可能性があります。再インストールしてください。	設定ファイルを不正に変更された場合 →再インストールを行ってください。
ライセンス登録時	ネットワークに接続されていません。 確認してください。	ネットワークに接続されていない場合 →メッセージ通り対処してください。
	インターネット経由でライセンス管理システムへの接続に失敗しました。 接続環境をお確かめください。	ライセンス登録に失敗した場合 →メッセージ通り対処してください。
	ライセンスキーが誤っております。 確認してください。	ライセンスキーが誤っている場合 →メッセージ通り対処してください。
	ライセンス管理システムのメンテナンス中のため接続できませんでした。 しばらくお待ち頂いた後、再度実行してください。 状況が変わらない場合、恐れ入りますが「システム設定」画面の連絡先までご連絡ください。	ライセンス登録に失敗した場合 →メッセージ通り対処してください。
	ライセンスキーは既に登録されております。 同一のライセンスキーを利用することはできません。	ライセンスキーが誤っている場合 →メッセージ通り対処してください。
制御設定	機器未設定です。 制御設定を行ってください。	制御機器未設定の場合 →メッセージ通り対処してください。
	機器への接続に失敗しました。 制御設定を確認してください。	制御機器への接続に失敗した場合 →メッセージ通り対処してください。

メッセージ		原因と対策
制御設定	機器へのログインに失敗しました。 制御設定を確認してください。	制御機器へのログインに失敗した場合 →メッセージ通り対処してください。
	プロキシサーバへの通信に失敗しました。 確認してください。	プロキシサーバへの通信に失敗した場合 →メッセージ通り対処してください。
対象PC設定	対象PCが未登録です。 対象PC設定を確認してください。	対象PC未設定の場合 →メッセージ通り対処してください。
	CSVファイルの形式が誤っております。 ご確認ください。	CSVファイル形式が誤っているの場合 →メッセージ通り対処してください。
	試用版では各グループで6個以上の登録はできません。	試用版にて6個以上の対象PCを登録しようとした場合 →設定し直してください。
制御	制御エントリ数が超過しております。 対象PCをすべて制御できません。 設定をお確かめください。超過エントリ数：[##] エントリ数の算出方法については、取扱説明書をご確認ください。	制御機器のフィルターエントリー数またはアクセスリスト数が超過している場合 →本書「エントリ数算出方法」を参照し対処してください。
	機器種別が誤っているか、機器に設定可能な上限を超えている可能性がございます。制御設定及び機器の設定をご確認ください。	制御機器の機器種別が誤っている場合か、制御機器のフィルターエントリー数またはアクセスリスト数の上限を超えている場合 →メッセージ通り対処してください。
その他	ユーザーIDまたはパスワードが誤っております。	ユーザーIDまたはパスワードが誤っている場合 →メッセージ通り対処してください。
	パスワードとパスワード再確認では同一の値を入力してください。	パスワードとパスワード再確認が誤っている場合 →メッセージ通り対処してください。

困ったときは

BlockNET の使用中にトラブルが発生したときは、お問い合わせする前に、もう一度以下の点をお確かめください。

症状	原因	処置
ライセンス登録が行えない	インターネットに接続されていない	インターネットに接続されているかどうか確認してください。
制御機器との通信が行えない	ネットワークの疎通ができていない	「Ping」コマンドを用いて接続の可否を確認してください。
	ログイン ID、パスワードが誤っている	制御機器の Telnet ログイン ID、パスワードを確認してください。
制御の途中で画面が固まってしまう	BlockNET インストール PC を対象PCに含めてしまい、アクセス制限されている	制御機器に設定されているフィルターエントリーを確認してください。 ※詳細については、制御機器の取扱説明書を参照ください。
制御実施後に画面の状態とアクセス状態とで違いがある	BlockNET 以外から制御機器の設定変更をされている	メニュー[表示]-[最新情報に更新する]をクリックして最新の状態を確認してください。
対象 PC を登録したが、すべてを制御することができない	制御機器に既にフィルターエントリーが登録されている。	制御機器のフィルターエントリー数を確認してください。 ※詳細については、ネットワーク機器付属の取扱説明書を参照ください。
切断してもインターネットに接続できてしまう	プロキシサーバへのアクセス制御の場合、対象 PC のプロキシサーバ利用をしていない。	対象PCのブラウザでプロキシサーバを利用しているかどうか確認してください。
	アクセス許可ネットワーク以外へのアクセス制御の場合、対象 PC のプロキシサーバ利用を行っている。	対象PCのブラウザでプロキシサーバを利用しないように設定されているかどうか確認してください。

切断することはできたが、接続することができない	対象 PC 設定にて、特定 PC を指定するときにサブネットマスクを指定してしまっている	対象 PC 設定に正しく設定されているかどうか確認してください。 ※【対象 PC 設定時のご注意】参照（▸P.35）
ユーザー認証が失敗してしまう	管理者のユーザーID とパスワードを忘れてしまっている	本製品を再インストールしてください。
Vista で管理者として実行できない	Vista のユーザーアカウント制御（UAC）機能が動作しているため	管理者として実行する設定を行っているかどうか確認してください。 （▸P.19）

ホームページのご案内

BlockNET ホームページでは、最新ソフトウェア情報、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

http://blocknet.ib-sol.co.jp/

製品に関するご質問は...

本製品のご質問は下記サポートセンターまでお問い合わせください。

サポートセンター

アイビーソリューション株式会社
〒918-8152 福井県福井市今市町 66-20-2 ホクコンビル 4F
TEL：0776-38-6373　　FAX：0776-38-5341
URL　http://www.ib-sol.co.jp
e-mail：support.blocknet@ib-sol.co.jp
BlockNET 担当係まで
〈受付時間〉
9:00 ～12:00、13:00 ～ 17:00　月～金（祝・祭日を除く）